

2017年度（平成29年度）

学士・編入学試験要項

◎試験当日は、この「入学試験要項」を必ず持参してください。

文 学 部

神道文化学部

法 学 部

経 済 学 部

人間開発学部

もっと日本を。もっと世界へ。



國學院大學

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

総合企画部 入学課

☎ 03-5466-0141

www.kokugakuin.ac.jp

目 次

1. アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れ方針）	1
2. 通学キャンパス・授業時間帯（平成28年度参考）	3

学士・一般編入学

3. 募集人員・出願資格・実施スケジュール・選考方法等	
【1】学士入学試験	6
【2】一般編入学試験	9
4. 受験から入学手続まで	12
5. 単位認定について	13

系列編入学

6. 系列編入学試験	16
------------	----

共通事項

7. 出願書類について	20
8. 入学志願票記入例	21
各種コード一覧	
9. 入学検定料	23
(1) 入学検定料の振込について	
(2) 大規模災害等にかかる平成29年度入学志願者に対する特別措置について	
10. 学費等納付金	24
(1) 学費等納付金について	
平成28年度学費等納付金額（参考）	
(2) フレックスコースの学費等納付金について（神道文化学部）	

<提出書類様式>

学士・一般編入学試験 履歴書・面接調書 【様式1】

【注意】

1. 出願資格・受付期間・試験科目等について、事前に熟読してください。
2. 身体機能の障がいや疾病等により、受験・就学に際して配慮を必要とする場合は、出願する30日前までに必ず入学課（03-5466-0141）に連絡してください。

個人情報の取り扱いについて

國學院大學では、「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報の適正な取り扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じています。志願にあたって提出された個人情報については、入学志願票の「個人情報の取り扱いについて」をお読みください。

1. アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れ方針）

※アドミッション・ポリシーについては、本学ホームページでもご確認ください。

文学部

【日本文学科】

日本文学科は、本学ならびに本学部が定める教育方針に基づき、日本文学・日本文化への専門的な学びをふまえて、日本人としての主体性を保持した寛容性と謙虚さを身につけ、日本文化を世界に創造的に発信することのできる人材の育成を目的とする。その大きなテーマを「古典作品が読める國學院生」とし、以下の育成の目的を掲げる。

- ①日本語の基本的運用能力を身につける。
- ②日本文学・日本文化に対する理解を深める。
- ③専門的な観点から日本文学・日本文化の研究を通して新たな文化創造に参加する。
- ④日本文学・日本文化の創造的発信を行う。

これらによって、主体的な意欲と能力を持つ人材を育成する。

以上の目的を実現するために、本学科および他の諸学部・学科が開設する授業・各種プログラムに主体的に参加し学修しようとする意欲が求められる。したがって、高等学校での「古典」科目的学習を十分にしておく必要がある。また世界や日本の文化・歴史についての基礎知識や、研究成果を外国へ発信する準備としての「英語」の学習も十分にしておくことが望まれる。

【中国文学科】

本学、文学部ならびに本学科が定める教育実施方針に基づき、以下のような学生を広く募集し、受け入れる。

- ①建学の精神を理解し、中国文学を中心に、関連する諸領域の学修を通して、広く社会に貢献できる知識・能力・徳性を身につけるとする意欲を有する学生。
- ②中国文学に対する強い志向性とともに、多様な知的好奇心や関心を有する学生。
- ③本学科が定める教育課程の学修を十分に理解することのできる基礎的な学力を有する学生。

【外国語文化学科】

外国语文化学科の目的は、高い外国语能力を持ち、異文化の総合的理解と日本文化の創造的発信を行う人材を養成することである。すなわち、

- ①英語および選択必修外国语（ドイツ語、フランス語、中国語から選択）を習得し、
- ②外国文化および異文化に対する理解を深め、
- ③比較文化的視点から日本文化に対する理解を新たにし、
- ④日本文化の創造的発信を行う

意欲と能力を持つ人材を育成しようとするものである。

以上の目的を実現するために、本学科および他の諸学部・学科が提供する授業・各種プログラムに積極的に参加し学ぼうとする意欲と、そのための基礎学力のある者を募る。

また、卒業後、本学で修得したことの基礎に立ち、それをさらに深めつつ、後進の指導及び社会貢献を積極的に行おうとする意欲を持つ者が望ましい。

入試制度の違いはあるが、原則は、本学科で充分に学修ができる程度の学力と適性を有する者を受け入れる。そのために、高校までの学習のあらゆる側面に誠実に取り組むことはもちろんあるが、本学科の特性を考慮し、特に以下の諸科目に積極的に取り組み、一定程度の知識を得ておくことが望ましい。

- ・外国语（「英語」）：『コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ』、『英語表現Ⅰ・Ⅱ』など
- ・国語：『国語総合』、『現代文』など
- ・社会および文化に関する領域：『世界史B』、『日本史B』、『地理B』など

【史学科】

高校生活あるいは卒業後の生活の中で、特定分野の学修に興味・関心を持ち、大学での勉学・研究に明確な目的意識と高い意欲を持つ学生を迎える、活気ある創造的な学問の場を創ることを目指す。入学者に求められるのは、まず一般的教養と専門的知識を学修するための基礎学力、更にはコミュニケーション能力、自己表現力、理論的思考力、自主的な学びの姿勢である。史学科で学ぶには、次の4分野の1つまたは複数について強い志望を持つことが必要である。①日本史学、②外国史学、③考古学、④地域文化と景観。入学後の学修・研究においては、史料など歴史的文献を解読することが基本となるため、高校では、古文・漢文、英語、そして日本史・世界史・地理を十分に学習していることが望ましい。

【哲学科】

哲学科は、本学ならびに文学部が定める教育実施方針に基づき、以下のような学生を広く募集し、受け入れる。

- ①建学の精神を理解し、東洋・西洋の哲学思想に対する学修を通して、社会に貢献できる知識と能力を有する学生。
- ②哲学・倫理学および美学・芸術学の学問分野に対する強い志向性を持ち、物事の本質を見極めたいという知的探究心に基づき、論理的思考を通して洞察を深めることができる学生。また、広く文献を涉獵することによって、あるいは他者との対話によって様々な知に触れ、自らの考えを吟味検証することができる学生。
- ③本学科が定める教育課程の学修を十分に理解することのできる基礎的な学力を有する学生。とりわけ入学までの学びにおいては、現代文および英語等の科目を中心とした学習を通して、文献の読み解き力、論理構築力、思考の表現力等を身に付けることが求められる。

神道文化学部

【神道文化学部】

神道文化学部では、神道を中心として国内外の宗教文化を幅広く学ぶ一貫した教育プログラムのもと、神道と日本文化の継承、

その世界に向けての発信に意欲を有する志願者を求めている。

とりわけ学士・編入学を目指す志願者に関しては、高等学校などで習得する科目全般に関する基礎学力はもちろんのこと、日本の伝統宗教や世界のさまざまな宗教文化を、自発的に探究する問題意識、主体的な探究姿勢が要請されよう。単に興味・関心があるというだけでなく、自らが進んで学修できる志向性の高い志願者を求めている点を強調しておきたい。

そのためには、まず何より日本語の読解力・文章表現力が重要である。「国語総合」「現代文」等の学習を通じて、論理的な思考力・表現力をしっかりと身につけてもらいたい。

また、神道文化を学ぶうえでは、日本の歴史や思想、文化などについての総合的な理解も欠かせない。このためには、「日本史A」あるいは「日本史B」の学習が重要である。さらに「倫理」「地理A」「世界史A」等の学習を通じて、宗教文化に根差すさまざまな社会事象・国際問題に対する興味と関心を培うことも大切であろう。外国語については、「英語」ほかの学習によって、基本的な読解力・文法力・会話力を身につけていることが求められる。

法学部

【法律学科（法律専攻・政治専攻）】

法学部は、建学の精神を理解し、本学部の教育課程を通じて法的または政治的思考力を身につけることにより、価値観の多様化する現代社会において、寛容さと謙虚さを維持しつつ、対立する利益を調整し、もしくは問題を的確に解決する力をもって社会に貢献できると思われる学生、また、社会の構成員であることを自覚し、主体的にそこに参画する意欲と能力を持つ学生を育成する。

学士・編入学試験制度は、法律学・政治学に強い関心を持って勉学に積極的・自発的に取り組み、学ぶ意欲がある学生を法学部に迎え入れることを目的とし、大学の勉学に対する「意欲と熱意（モチベーション）」および潜在的能力を評価する。この入学試験制度においては、教養科目試験を通じて1) 論理的思考力および2) 文章構成力・表現力を、また、面接を通じて3) 本学部で勉学に励む熱意と十分なコミュニケーション能力を評価する。

なお、この入学試験制度は、教科型の入学試験制度ではないものの、入学後の教育内容との関係で、特に次の内容を修めてきてほしいと考えている。

まず、法律および政治の多くの専門科目に関する基礎的な知識や、日本の法律・政治の歴史や起源についての知識を得るために、「政治・経済」、「日本史」、「世界史」の学習は有用である。また、法制度・政治制度は環境や科学に関する問題と深く関わるため、「基礎的な理科」の学習により自然科学に関する基礎的な知識を予め理解しておくことが望ましい。

次に、「基礎的な数学」の学習は、情報を整理・分析する能力や、法解釈に必要とされる論理的思考力を養うことにつながり、「国語」の学習は、さまざまな文献を読みこなすうえで必要な基礎的な読解力や、レポート・論文等を執筆する際に必要な文章構成力を養うことにつながる。さらに、日本のみならず広く国外へ視野を広げ、法制度・政治制度を客観的な視点で分析するため、「英語」の学習は有用である。

経済学部

【経済学科・経済ネットワーキング学科・経営学科】

本学部は、日本語・外国語および情報リテラシー教育の充実、基礎から応用までの系統的カリキュラム、少人数演習教育を柱とする教育課程を通じて、企業をはじめとする国内外のあらゆる組織で活躍できる人材の育成を目指しており、教育の「現代化」「現場化」「情報化」の基本方針のもと、学生が入学前からもっていた興味・関心に即した学修ガイドとして8つのコースを設定している（経済学科「経済の歴史と理論」「日本の経済システムと政策」「グローバル経済」、経済ネットワーキング学科「地球環境と開発」「地域づくりと福祉」「情報メディア」、経営学科「マネジメント」「会計情報」）。

こうした教育課程の編成内容を理解しつつ、上記8コースの履修を的確に志望するにあたり、経済や経営の現状や歴史に関する、研究・授業・諸活動等の入学前の経験を踏まえた明確な問題意識と、卒業後の将来設計を有し、それを実現するために、在学中の主体的・自発的学修を系統的に計画し、継続的に努力する意欲・能力を有する者を受け入れる。

上記に関して、本学部における基礎的な学修のために「国語」、専門的な学修のために「政治・経済」「日本史」「世界史」「英語」、高度応用的な学修のために「数学」を履修しておくことが望ましい。

人間開発学部

【初等教育学科・健康体育学科・子ども支援学科】

人間開発学部では、自らの資質・能力の向上と人間力育成を求めるとともに、教育者・指導者に強い志向性を有する学生を受け入れる。そのための基礎学力を持ち、自ら学ぼうとする学習意欲を保持し、十分なコミュニケーション能力を有してそれをより高めようとするものを求めている。心身の発達に関する教養を総合的に身につけていくため、幅広い分野に関心を持って学んできたものに受験してもらいたい。

初等教育学科では、日本の教育への関心と理解があり、教育の諸領域における各種問題に関する専門的な知識や技能の修得を目指して、「教育の専門家」を志す意欲の高い人。

健康体育学科では、身体運動や身体諸機能への関心と理解があり、健康の維持増進のあり方と多様なスポーツに関する専門的な知識や技能の修得を目指して、様々なライフステージでの健康・体育開発への寄与を志す意欲の高い人。

子ども支援学科では、日本の幼児教育・保育への関心と理解があり、幼児教育・保育の諸領域における各種問題に関する専門的な知識や技能の修得を目指して、「幼児教育・保育の専門家」を志す意欲の高い人。

系列編入学試験では、「人間開発」に強い関心を持ち、本学部・学科への志向性が高い学生を求めている。課外活動やグループ活動においても牽引役となり、学生生活全般に意欲的に取り組む姿勢を期待する。学科の別を問わず、幅広く学ぶ意欲を持ち、基礎学力を持っていることが望まれる。そのためにも、日常生活の中に学習する習慣をつけていくことが大切である。さらに、志向性および今後の学生生活・卒業後の進路について展望を持っていることが必須条件となる。

2. 通学キャンパス・授業時間帯（平成28年度参考）

文学部・神道文化学部・法学部・経済学部のメインキャンパスは「渋谷キャンパス」、人間開発学部のメインキャンパスは「横浜たまプラーザキャンパス」です。神道文化学部（フレックスA（夜間主）コース）のクラス指定科目については全て渋谷キャンパスでの受講となります。

時限	渋谷キャンパス							時限	横浜たまプラーザキャンパス						
	曜日	月	火	水	木	金	土		曜日	月	火	水	木	金	土
時間								時間							
1	8：50～10：20							1	9：00～10：30						
2	10：30～12：00							2	10：45～12：15						
3	12：50～14：20							3	13：05～14：35						
4	14：30～16：00							4	14：50～16：20						
5	16：10～17：40							5	16：35～18：05						
6	17：50～19：20	・	・	・	・	・	・	6	18：15～19：45						
7	19：30～21：00	・	・	・	・	・	・								

【フレックス開講制について（神道文化学部）】

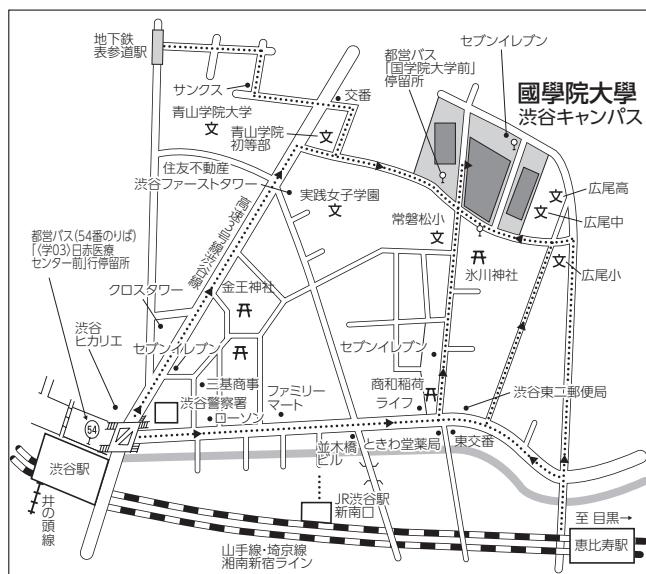
フレックス（昼夜）開講制は、コースによりクラス指定される科目を除き、授業時間帯やキャンパスを自由に選ぶことができます。

コースは出願時に選択します。合否の発表は出願時の登録に基づいて行いますので、選択したコースを出願後に変更することは一切認められません。また、入学後のコース変更も認められません。

【奨学金制度について】

「フレックスA（夜間主）コース」の入学者が、夜開講時間帯及び共通時間帯だけで受講する場合に对象となる奨学金制度があります。詳細はP.25を参照してください。

渋谷キャンパス



<所在地>〒150-8440

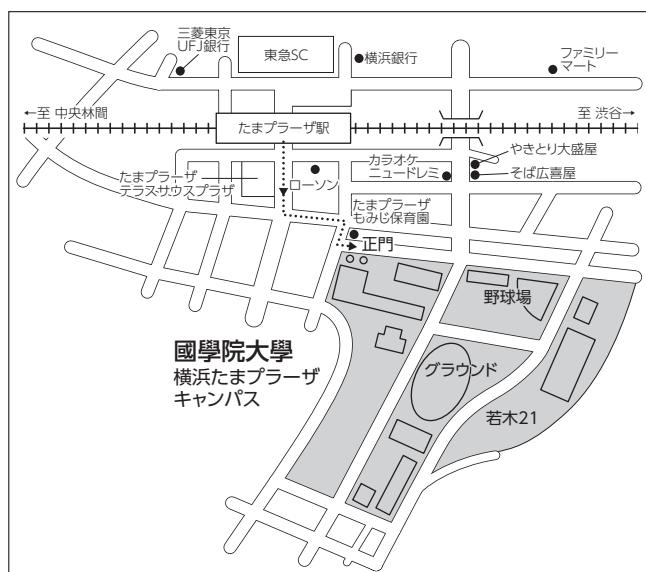
東京都渋谷区東四丁目10-28

＜交通機関＞渋谷駅東口方面出口より徒歩約13分、

または、

渋谷駅東口バスターミナル(54番のりば)
より
都営バス〈学03系統〉「日赤医療センター
前」行き（運賃 現金180円・IC175円）
「国学院大学前」下車

横浜たまプラーザキャンパス



<所在 地>〒225-0003

神奈川県横浜市青葉区新石川三丁目22-1

＜交通機関＞渋谷駅より東急田園都市線（長津田・中央林間方面行き）にて約25分
(東京メトロ半蔵門線相互乗り入れ)
たまプラーザ駅下車南口より徒歩約5分

交通案内図



◎東急田園都市線は、渋谷駅より東京メトロ半蔵門線と相互乗り入れをしております。

学士・一般編入学

3. 募集人員・出願資格等
4. 受験から入学手続まで
5. 単位認定について

3. 【1】学士入学試験

(1) 募集人員

学 部	学 科	コース・専攻	募集人員
文	日本文		各学科 若干名
	中国文		
	外国語文化		
	史		
	哲		
神道文化	神道文化	フレックスA(夜間主)	各学科 若干名
		フレックスB(昼間主)	
法	法律	法律	
経済	経済		
	経済ネットワーキング学科		
	経営学科		

※学士入学試験では人間開発学部の募集は行いません。

(2) 出願資格

1. 学士の学位を有する者。または、平成29年3月学士取得見込みの者。
2. 原則として、志望する学科が卒業（見込みを含む）した学科と異なっていること。

※出願資格についてご不明な点がある場合は、入学課（03-5466-0141）までお問い合わせください。

(3) 入学条件

1. 本学所定の履修規定に従うこと。
2. 学籍上3年次に編入する。
3. 在学期間は2年以上とし、4年を超えないこと。

(4) 入学検定料

35,000円

※大規模災害等の被災地からの入学志願者に対し、入学検定料を免除する制度があります。詳細はP.23を参照してください。

(5) 実施スケジュール

出願期間
平成28年10月10日(月)～10月17日(月) (消印有効)
選考
【試験日】 平成28年11月13日(日) 【会場】 渋谷キャンパス 【集合時刻】 9：30 ※本学出身者の法学部・経済学部受験者は12：30集合 (P.8 参照)。 ※試験日程が午後にわたる場合は、必ず昼食を持参してください。
合格発表【選考結果通知発送】*
平成28年11月24日(木)
入学手続期間
平成28年11月25日(金)～12月2日(金) (消印有効)

※インターネットによる合格発表

正式な発表は、本人宛に送付する通知としますが、補助的な手段としてインターネットにて合格者の受験番号を公開します。

発表日の13：00より、下記のアドレスにアクセスしてください (13：00直後はアクセスが集中し、つながりにくいことがあります)。

合格発表専用ホームページのアドレス

<https://www3.kokugakuin.ac.jp>

(スマートフォン版サイトでは閲覧不可。PC版サイトをご覧ください。)

(6) 選考方法

<文学部・神道文化学部>

学科・コース	集合時刻	試験科目・内容	
		1時間目 (10:00~11:00)	2時間目 (13:00~)
日本文	9:30	古文	面接 (20分程度)*
中国文		漢文	
外国語文化		英語	
史		日本史(2題) 考古学・東洋史・西洋史・地理(各1題) ★計6題の中から2題を選択して解答	
哲		小論文(600字程度) 専門の語句説明(2題程度)	
神道文化		小論文(800字程度)	
		フレックスA	
		フレックスB	

*外国語文化学科の面接は、英語による質疑応答を含む。

<法学部・経済学部>

(1) 國學院大學以外の大学の出身者

※面接は法律学科のみ。

学科(専攻)	集合時刻	試験科目・内容	
		1時間目 (10:00~11:00)	2時間目 (13:00~)
法律(法律専攻)	9:30	社会に関する英文の和訳 (辞書・電子辞書の持込み可)	面接 (20分程度)
経済		現代文・英語 (辞書・電子辞書の持込み不可)	
経済ネットワーキング			
経営			

(2) 國學院大學出身者…面接のみ

学科(専攻)	集合時刻	試験内容	
		13:00~	
法律(法律専攻)	12:30		面接 (20分程度)
経済			
経済ネットワーキング			
経営			

3. 【2】一般編入学試験

(1) 募集人員

学 部	学 科	コース・専攻	募集人員
文	日本文		各学科 若干名
	中国文		
	外国語文化		
	史		
	哲		
神道文化	神道文化	フレックスA(夜間主)	各学科 若干名
		フレックスB(昼間主)	
法	法律	法律	
経済	経済		
	経済ネットワーキング学科		
	経営学科		

※一般編入学試験では人間開発学部の募集は行いません。

(2) 出願資格

以下のいずれかに該当する者。

1. 日本の短期大学卒業者および平成29年3月卒業見込者。
2. 日本の4年制大学に2年以上在籍し、かつ、62単位以上の単位を取得しているか、取得見込の者。
3. 出願資格1.と同等以上の学力があると本学が特に認めた者。

※出身・在籍校は、文部科学省所管学校のみを対象とします。

※出願資格についてご不明な点がある場合は、入学課（03-5466-0141）までお問い合わせください。

(3) 入学条件

1. 本学所定の履修規定に従うこと。
2. 学籍上3年次に編入する。
3. 在学期間は2年以上とし、4年を超えないこと。

(4) 入学検定料

35,000円

※大規模災害等の被災地からの入学志願者に対し、入学検定料を免除する制度があります。詳細はP. 23を参照してください。

(5) 実施スケジュール

出願期間
平成28年10月10日(月)～10月17日(月) (消印有効)
選考
【試験日】 平成28年11月13日(日) 【会場】 渋谷キャンパス 【集合時刻】 9：30 ※試験日程が午後にわたる場合は、必ず <u>昼食</u> を持参してください。
合格発表【選考結果通知発送】*
平成28年11月24日(木)
入学手続期間
平成28年11月25日(金)～12月2日(金) (消印有効)

※インターネットによる合格発表

正式な発表は、本人宛に送付する通知としますが、補助的な手段としてインターネットにて合格者の受験番号を公開します。

発表日の13：00より、下記のアドレスにアクセスしてください（13：00直後はアクセスが集中し、つながりにくいことがあります）。

合格発表専用ホームページのアドレス

<https://www3.kokugakuin.ac.jp>

(スマートフォン版サイトでは閲覧不可。PCサイトをご覧ください。)

(6) 選考方法

<文学部・神道文化学部>

学科・コース	集合時刻	試験科目	
		1時間目 (10:00~11:00)	2時間目 (13:00~)
日本文	9:30	古文	面接 (20分程度)*
中国文		漢文	
外国語文化		英語	
史		日本史(2題) 考古学・東洋史・西洋史・地理・(各1題) ★計6題の中から2題を選択して解答	
哲		小論文(600字程度) 専門の語句説明(2題程度)	
神道文化		小論文(800字程度)	
		フレックスA	
		フレックスB	

*外国語文化学科の面接は、英語による質疑応答を含む。

<法学部・経済学部>

学科(専攻)	集合時刻	試験科目		
		10:00~11:00		
法律(法律専攻)	9:30	社会に関する英文の和訳 (辞書・電子辞書の持込み可)	教養科目	
経済				
経済ネットワーキング		現代文・英語 (辞書・電子辞書の持込み不可)		
経営				

4. 受験から入学手続まで<学士・一般編入学共通>

(1) 受験に関する諸注意

① 開門時刻	9:00 ~ ※ <u>試験教室には試験開始30分前までに入室</u> してください。入場後は、試験が終了するまで場外に出ることはできません。
② 受験票	<ul style="list-style-type: none">出願された方全員に受験票を発送します。試験日の3日前になんでも受験票が届かない場合や、記載内容に誤りのある場合、また紛失や破損をしてしまった場合には、入学課（03-5466-0141）までお問い合わせください。試験当日は<u>必ず受験票を持参</u>し、案内掲示板にて自分の受験番号を確認のうえ、該当の試験教室に入室してください。試験中は受験票を机上に掲示してください。
③ 遅刻	<ul style="list-style-type: none"><u>遅刻は一切認めません</u>。事故などによって交通機関に遅延が生じた場合でも、試験は原則として定刻通り実施します。
④ その他	<ul style="list-style-type: none">試験日程が午前から午後にわたる場合は必ず<u>昼食を持参</u>してください。<u>時計は必ず持参</u>してください（通信・計算機能を備えた時計や携帯電話・スマートフォンの時計機能は使用不可）。また、試験時間中は必ず電子機器類の電源を切ってください。鉛筆はH B・消しゴムはプラスチック製を使用してください。下敷き・定規・コンパスなどは原則として使用できません。和歌、格言等が印字された筆記具等は使用できません。試験教室からの入退室は、試験監督の指示に従ってください。不正行為をした者・監督の注意や指示に従わない者には退室を命じ、以降の受験は一切認めません。喫煙はできません。上履きを持参する必要はありません。試験教室の下見はできません。

(2) 合格発表について

出願者（受験者）全員に対し、本人宛に選考の結果を送付します（大学窓口での交付はしません）。合格者には必要書類を同封しますので、内容を確認し、所定の手続を行ってください。なお、配達区域により郵便到着に若干の時間差が生じる場合がありますのでご了承ください。

また、電話による合否の問い合わせには一切応じません。

(3) 入学手続について

合格通知書とともに送付する振込用紙にて、大学指定口座に学費等納付金を納入し、その振込受領書と入学手続書類一式を、手続期間内に大学宛に郵送（速達・簡易書留）することによって入学手続が完了します。なお、手続書類配達時の不在および郵便事情による遅配を理由とした入学手続の延期は一切認めません。

5. 単位認定について

(1) 学士入学者

前在籍大学において取得された単位を以下の条件で國學院大學の単位として認定します。

	卒業に要する 単位	文・法・経済学部 単位認定	神道文化学部 単位認定
専門教育科目	64単位	認定しない	認定しない
教養総合科目	36単位	58単位を一括認定する	
その他要卒単位	24単位	※本学出身者は60単位	60単位を一括認定する

※ 教職課程科目については、単位認定はいたしませんが、教育職員免許法により単位の流用が可能な場合があります（本学入学後、希望者に対し個別に説明します）。

※ その他の資格課程科目については、一切認定しません。

単位認定についてご不明な点は、教務課（03-5466-0135）までお問い合わせください。

(2) 一般編入学者

前在籍大学・短期大学において取得された単位を以下の条件で國學院大學の単位として認定します。

	卒業に要する 単位	文・神道文化・法・経済学部 単位認定
専門教育科目	64単位	認定しない（注）
教養総合科目	36単位	36単位を上限に認定する
その他要卒単位	24単位	24単位を上限に認定する

注）日本文学科・史学科では専門教育科目の認定を行う場合があります（入学手続終了後、個別にお知らせします）。

※ 単位認定は、科目の内容、単位数等により本学基準に基づいて行います。

※ 教職課程科目については、教育職員免許法に基づき単位認定もしくは単位の流用が可能な場合があります（本学入学後、希望者に対し個別に説明します）。

※ その他の資格課程科目については、一切認定しません。

単位認定についてご不明な点は、教務課（03-5466-0135）までお問い合わせください。

系列編入学

6. 系列編入学試験

(1) 募集人員

【國學院大學北海道短期大学部】

学 部	学 科	コース・専攻	編入学対象学科・ コース／募集人員	
			全学科	児童教育 コース
文	日本文		37名	10名
	中国文		4名	2名
	外国語文化		8名	10名
	史		16名	5名
	哲		10名	1名
神道文化	神道文化	フレックスA(夜間主)	20名	—
		フレックスB(昼間主)		
法	法律	法律	10名以内	—
経済	経済		16名	—
	経済ネットワーキング		11名	—
	経営		11名	—
人間開発	初等教育		7名以内	—
	健康体育		7名以内	—

【國學院大學栃木短期大学】

学 部	学 科	コース・専攻	編入学対象学科 (フィールド)	募集 人員
文	日本文		日本文化 (日本文学・ 言語文化)	25名
	中国文			3名
	史		日本文化 (日本史)	30名
神道文化	神道文化	フレックスA(夜間主)	日本文化	5名
		フレックスB(昼間主)		
経済	経済		日本文化 (言語文化)	7名
	経済ネットワーキング			4名
	経営			4名
人間開発	初等教育		人間教育 (子ども教育)	7名以内

(2) 出願資格

國學院大學北海道短期大学部および國學院大學栃木短期大学の平成29年3月卒業見込者。

(3) 入学条件

1. 本学所定の履修規定に従うこと。
2. 学籍上3年次に編入する。
3. 在学期間は2年以上とし、4年を超えないこと。

(4) 入学検定料

35,000円

※大規模災害等の被災地からの入学志願者に対し、入学検定料を免除する制度があります。詳細はP. 23を参照してください。

(5) 実施スケジュール

出願期間
在籍校指定の期間
選 考
書類選考
合格発表 ※在籍校において発表
平成28年12月 6日(火)
入学手続期間
平成28年12月 8日(木)～12月15日(木) (消印有効)

(6) 入学手続

合格通知書とともに送付する振込用紙にて、大学指定口座に学費等納付金を納入し、その振込受領書と入学手続書類一式を、手続期間内に大学宛に郵送（速達・簡易書留）することによって入学手続が完了します。なお、手続書類配達時の不在および郵便事情による遅配を理由とした入学手続の延期は一切認めません。

共通事項

7. 出願書類について
8. 入学志願票記入例
9. 入学検定料
10. 学費等納付金

7. 出願書類について

学士入学 一般編入学	出願に必要な書類を全てそろえ、入学検定料振込後、本学所定の出願封筒を使用し、 <u>速達・簡易書留で入学課宛に送付</u> してください。窓口での受付は行いませんのでご注意ください。
系列編入学	出願書類は、在籍校で取りまとめて提出しますので、提出期日は在籍校の担当者の指示に従ってください。

① 入学志願票 【本学所定用紙】 ② 各種証明書 (①・②両方とも提出。) ※出願前3ヶ月以内に発行されたものを提出してください。 ※各種証明書の氏名が旧姓の場合には、同一人物であることを証明する書類（戸籍抄本等）を同封してください。	「入学志願票記入例（P.21）を参考に記入してください。 <u>入学検定料（35,000円）を振込み、写真（縦4cm×横3cm）・52円切手を貼付</u> してください。出願の際には「志願票・写真票・受験票」を切り離さずに提出してください。	
	①出願資格を証明する書類（卒業証明書等）	
	学士入学	出身大学が発行した「卒業（見込）証明書」
	一般編入学	出身短期大学が発行した「卒業（見込）証明書」もしくは、在籍大学が発行した「在籍証明書」
② 各種証明書 (①・②両方とも提出。) ※出願前3ヶ月以内に発行されたものを提出してください。 ※各種証明書の氏名が旧姓の場合には、同一人物であることを証明する書類（戸籍抄本等）を同封してください。	②単位認定に関する書類（単位成績証明書等） ※入学手続の際にも「卒業証明書」および「単位成績証明書」の提出が必要となります。すでに大学を卒業している場合は、それぞれを2部ずつ用意しておくことをお勧めします。	
	学士入学	出身大学が発行した「単位成績証明書」 ※履修中（取得見込）の単位がある場合は、履修が証明できる書類（履修登録証明書等）も提出してください。
	一般編入学	出身短期大学・大学が発行した「単位成績証明書」 ※履修中（取得見込）の単位がある場合は、履修が証明できる書類（履修登録証明書等）も提出してください。
	系列編入学	在籍校で取りまとめて提出しますので、個々に用意する必要はありません。
③ 「推薦状」	系列編入学志願者のみ、提出してください。 在籍校でまとめて提出しますので、個々に用意する必要はありません。	
④ 学士・一般編入学 履歴書・面接調書 【様式1】	履歴書は、高校入学から現在までの経歴を、詳細に記入してください。	

- 〈注意〉
- 出願後の学部・学科および専攻・コースの変更は認めません。
 - 書類に不備のある場合は、出願が受け付けられませんのでご注意ください。
 - 一度提出された出願書類及び入学検定料は、いかなる理由があっても返還しませんので、ご注意ください。
 - 試験日の3日前になんでも受験票が到着しない場合は、本学入学課（03-5466-0141）までお問い合わせください。なお、系列編入学試験は書類選考のみのため、受験票は発送しません。

8. 入学志願票記入例（学士・編入学共通） ※受験票・写真票もこれにならって記入してください。

記入例は、学士入学（神道文化学科フレックスBコース）を選択したものですが、他の制度・学科を選択した場合もこれにならない、ペンまたはボールペンを使用して各票の太枠内を漏れなく記入してください（網かけされている欄は未記入のままで結構です）。なお、提出後の変更は一切認められませんので、ご注意ください。

- ★ 入学志願票を全て記入の上、入学検定料（35,000円）を振込み、出願してください。
- ★ 写真票には写真（縦4cm×横3cm）、受験票には52円切手を必ず貼付してください。
- ★ 記入を間違えた場合は修正液（ホワイト）を使用しても構いません。但し、入学検定料（振込金額）を訂正する場合は、二重線で消し、その上に銀行等の窓口で訂正印を押してもらい、欄外に正しい金額を記入してください。

國學院大學（推薦・特別選考）入学志願票																			志願票	
入試制度																				
出願する試験制度の番号に○を付け、必要事項を記入してください。																				
1 公募(AO) 経済学部以外	2 公募(AO) 経済学部	3 K-ENT方式	4 スポーツ	5 指定校	6 全商協会	7 社会人	8 神道・宗教	9 神職養成	10 神道学 専攻科	11 学士	12 院友子弟	13 セカンド キャリア	14 別科Ⅰ類	15 別科Ⅱ類	16 業種コード 1: 神道 2: 宗教	17 出願種別 1: 神道 2: 外国人 留学生	18 系列校 (選抜)	19 系列編入		
志願コード コード イロハ																				
【公募(AO)】 日本文学科 1 I類 2 II類		【公募(AO)】 院友子弟 第1次選考免除[法律学科・中国文学科] 第2次選考兼記試験免除 [外国語文化学科]		【公募(AO)】 院友子弟 第1次選考免除[法律学科・中国文学科] 第2次選考兼記試験免除 [外国語文化学科]		1 希望する 2 希望しない		1 希望する 2 希望しない		1 希望する 2 希望しない		1 希望する 2 希望しない		1 希望する 2 希望しない		1 希望する 2 希望しない		1 希望する 2 希望しない		
↓記入例に従って該当欄に記入してください（選択項目には該当するものに○を付けてください）。																				
志願データ 受験番号 入試コード 漢字 T 1 4 A																			系列三高校（選抜）本願者のみ貼付 大学入試センター試験成績請求票貼付欄 <input checked="" type="checkbox"/> 私・短 私立大学・ 公私立短期大学用	
学部学科 文 日本文・中國文・外國語文化・史・哲 (神道文化) (神道文化) 法・法律 法律専攻・政治専攻 経済 経済・經濟ネットワーキング・經營 人間開発 初等教育・健康体育・子ども支援 神道学専攻科・別科神道専修Ⅰ類・別科神道専修Ⅱ類																			大学入試センター試験受験票とともに交付された 成績請求票を貼付してください。	
氏名 カナ ワクキ 漢字 姓 若木 名 雅 [留学用] ローマ字																			性別 1 どちらも希望する 2 フレックスA(夜間主)のみ 3 フレックスB(昼間主)のみ	
志願者住所 都道府県 神奈川 横浜市青葉区新石川3-1-22-1 〒 225-0003 高等学校等コード 國學院 /13550A11201303																			年(西暦) 1994年08月 生年月日 2 2 5 - 0 0 0 3 月 出身大学(短大)・学部・学科 若木学院大学 法学部政治学科 卒業年(西暦) 2017年03月	
離婚 出身高等学校等 高等学校・中等教育学校・その他																			1 男 2 女 1 9 9 4 0 8 0 4 自宅 045-904-7700 携帯 080-9999-9999	
個人情報取り扱い確認欄 個人情報の取り扱いに関する「振込金額等 同意する」欄を複数個 ある場合は複数個 ある場合は複数個 を記入してください。 ○																			入学検定料(振込金額) ¥ 35000 収納印 ①/4 入学検定料	

【年号対照表】	
西暦	和暦
1986	昭和61
1987	62
1988	63
1989	平成元
1990	2
1991	3
1992	4
1993	5
1994	6
1995	7
1996	8
1997	9
1998	10
1999	11
2000	12
2001	13
2002	14
2003	15
2004	16
2005	17
2006	18
2007	19
2008	20
2009	21
2010	22
2011	23
2012	24
2013	25
2014	26
2015	27
2016	28
2017	29

(1) 記入上の注意

- ① 志願先の入試コードは、P.22(2)を参照のうえ記入してください。また法律学科の志願者は法律専攻に○を付けてください。コース欄は記入不要です（他の入試制度使用欄のため）。
- ② 氏名は常用漢字を使用し、楷書で記入してください。
- ③ カナ氏名は、濁点・半濁点も1文字として記入してください。
- ④ 選択項目（入試制度・学部・学科・専攻・性別等）は該当するものに○を付けてください。
- ⑤ 生年月日・卒業年月は必ず西暦で記入し、月日が1桁の場合は、その数字の前に「0」を入れ、2桁で記入してください。

- ⑥ 住所は結果通知等の送付先となりますので、アパート・マンション名まで正確に記入してください（丁目・番地・号は「-」で記入してください）。
- ⑦ 電話番号は市外局番・局番・加入番号それぞれの間を「-」で区切って記入してください。
- ⑧ 出身高校および出身大学・短期大学等の名称、学部学科（第一部・第二部等） および卒業（見込）年・月を記入してください（短期大学における専攻課程を除く）。

(2) 各種コード一覧

学 部	学 科	コース・専攻	入試コード		
			学 士	一般編入	系列編入
文	日本文	T11A	Y11A	R11A	
	中国文	T11E	Y11E	R11E	
	外国語文化	T11F	Y11F	R11F	
	史	T11B	Y11B	R11B	
	哲	T11D	Y11D	R11D	
神道文化	神道文化	フレックスA(夜間主)	T24A	Y24A	R24A
		フレックスB(昼間主)	T14A	Y14A	R14A
法	法律	法律	T12A	Y12A	R12A
経済	経済	T13A	Y13A	R13A	
	経済ネットワーキング	T13B	Y13B	R13B	
	経営	T13C	Y13C	R13C	
人間開発	初等教育				R15A
	健康体育				R15B

高等学校等 コード	本学ホームページ (http://www.kokugakuin.ac.jp/) でご確認ください。 トップページ>入学入試案内>入試情報に関するお知らせ
--------------	--

課程コード	課 程	全 日 制	定 時 制	通 信 制	そ の 他
	コ ー ド	1	2	3	9

学科コード	学 科	普通	商 業	工 業	農 業	英 語	総 合	そ の 他
	コ ー ド	1	2	3	4	5	6	9

9. 入学検定料

(1) 入学検定料の振込について

入学検定料	35,000円
-------	---------

※出願開始日よりお振り込みください。

- ① 入学志願票に必要事項を全て記入した後、出願期限に間に合うように最寄りの銀行または信用金庫等の窓口（銀行等のATM・ゆうちょ銀行は利用できません）から本学が指定する銀行口座へ振込んでください。
 - ・振込依頼書は入学志願票と一緒にになっていますので、必要事項を記入のうえ、切り離さずに銀行等取扱店へお持ちください。
 - ・本学が指定する銀行（下記⑥参照）の各本支店から振込む際の手数料は不要ですが、その他の金融機関から振込む場合には本人負担となります。
- ② 振込終了後、「振込依頼書」は取扱店によって切り取られます。それ以外の収納印欄全てに取扱店の収納印が押されていることを必ず確認してください。
- ③ 「本人保存」は領収書となりますので、各自切り取って保管してください。
- ④ 出願の際には「志願票・写真票・受験票」を切り離さずに、その他の出願書類とともに入学課宛に送付してください（詳細はP. 21～22を参照してください）。
- ⑤ 一度納入された入学検定料は、いかなる理由があっても返還しませんので、ご注意ください。
- ⑥ 本学が指定する銀行口座は下記のとおりです。

みずほ銀行	渋谷中央支店	普通	No.1391131	三菱東京UFJ銀行	渋谷中央支店	普通	No.0128169
三井住友銀行	渋谷支店	普通	No.8195674	りそな銀行	渋谷支店	普通	No.0093868

※ ご不明な点は、入学検定料を振込む前に、入学課（03-5466-0141）までお問い合わせください。

(2) 大規模災害等にかかる平成29年度入学志願者に対する特別措置について

1. 対象者

災害救助法適用地域に主たる家計支持者が居住もしくは勤務し、被災した世帯の志願者

2. 入学検定料について

免除

3. 申請方法

出願書類とともに以下の2点を提出（同封）してください。

- ①大規模災害に伴う入学検定料特別措置申請書（最終頁）
- ②公的機関が発行する「罹災証明書」（写し可）

注1. 書類に不備があった場合は入学検定料の免除の対象となりませんのでご注意ください。

注2. 公的機関が発行する罹災証明書を取得された方は金融機関で検定料を納める必要はありません。

注3. 出願後の申請は一切認めません。

10. 学費等納付金

(1) 学費等納付金について

平成28年度参考。なお金額については変更となる場合があります。

1. 編入学者および國學院大學以外の大学出身の学士入学者

(単位：円)

費 目	学 部 別 納 期	文学部・神道文化学部・法学部・経済学部・人間開発学部		
		全 納 (年額)	分 納	
			入学手続時	9月(後期分)
学 費	入 学 金	260,000	260,000	
	授 業 料	700,000	350,000	350,000
	施設設備費	201,000	100,500	100,500
	維持運営費	10,000	10,000	
	小 計	1,171,000	720,500	450,500
諸 費	若木育成会費	29,000	29,000	
	若木学友会入会金	1,000	1,000	
	若木学友会費	5,300	5,300	
	院友会（同窓会）入会金	10,000	10,000	
	文学部・神道文化学部：國學院雑誌代	2,000	2,000	
	法学部：國學院法学代	3,000	3,000	
	経済学部：経済学会費	2,000	2,000	
	人間開発学部：人間開発学会費	3,000	3,000	
	小計			
	文 学 部	47,300	47,300	
合 計	神 道 文 化 学 部	47,300	47,300	
	法 学 部	48,300	48,300	
	経 済 学 部	47,300	47,300	
	人 間 開 発 学 部	48,300	48,300	
	文 学 部	1,218,300	767,800 1,218,300	450,500
	神 道 文 化 学 部	1,218,300	767,800 1,218,300	450,500
	法 学 部	1,219,300	768,800 1,219,300	450,500
	経 済 学 部	1,218,300	767,800 1,218,300	450,500
	人 間 開 発 学 部	1,219,300	768,800 1,219,300	450,500

備考 1. 國學院大學北海道短期大学部からの編入者については、入学金が80,000円となります。

2. 教員免許等各種資格の取得を希望する場合は、上記以外に別途費用が必要となります。

3. 上表のうち、國學院雑誌代（文学部・神道文化学部）については消費税分を含んだ金額となっております。

4. 文学部中国文学科入学者は、中国学会費2,000円が諸費に加算されます。

5. 分納した場合は、夏休み中（8月上旬）に後期分の振込用紙を保証人（ご父母）宛に送付します。

6. 入学後の学費等納付については、毎年4月に振込用紙を保証人（ご父母）宛に送付します。

2. 國學院大學出身の学士入学者

(単位：円)

費 用		学 部 别 納 期	文・神道文化・法・経済・人間開発学部		第二部出身者		
			全 納 (年額)	分 納	全 納 (年額)	分 納	
学 費	入 学 金	260,000	260,000		260,000	260,000	
	授 業 料	700,000	350,000	350,000	700,000	350,000	
	施設設備費	201,000	100,500	100,500	201,000	100,500	
	維持運営費	10,000	10,000		10,000	10,000	
	小 計	1,171,000	720,500	450,500	1,171,000	720,500	
諸 費	若木育成会費	29,000	29,000		29,000	29,000	
	若木学友会入会金				1,000	1,000	
	若木学友会費	5,300	5,300		5,300	5,300	
	文学部・神道文化学部：國學院雑誌代	2,000	2,000		2,000	2,000	
	法学部：國學院法學代	3,000	3,000		3,000	3,000	
	経済学部：経済学会費	2,000	2,000		2,000	2,000	
小 計	文 学 部	36,300	36,300		37,300	37,300	
	神 道 文 化 学 部	36,300	36,300		37,300	37,300	
	法 学 部	37,300	37,300		38,300	38,300	
	経 済 学 部	36,300	36,300		37,300	37,300	
合 計	文 学 部	1,207,300	756,800	450,500	1,208,300	757,800	450,500
			1,207,300			1,208,300	
	神 道 文 化 学 部	1,207,300	756,800	450,500	1,208,300	757,800	450,500
			1,207,300			1,208,300	
合 計	法 学 部	1,208,300	757,800	450,500	1,209,300	758,800	450,500
			1,208,300			1,209,300	
合 計	経 済 学 部	1,207,300	756,800	450,500	1,208,300	757,800	450,500
			1,207,300			1,208,300	

※各学部のフレックスA（夜間主）・フレックスB（昼間主）コース出身者は第一部出身者に含まれます。

- 備考 1. 教員免許等各種資格の取得を希望する場合は、上記以外に別途費用が必要となります。
 2. 上表のうち、國學院雑誌代（文学部・神道文化学部）については消費税分を含んだ金額となっております。
 3. 文学部中国文学科入学者は、中国学会費2,000円が諸費に加算されます。
 4. 分納した場合は、夏休み中（8月上旬）に後期分の振込用紙を保証人（ご父母）宛に送付します。
 5. 入学後の学費等納付については、毎年4月に振込用紙を保証人（ご父母）宛に送付します。

(2) フレックスコースの学費等納付金について（神道文化学部）

フレックス開講制のいずれのコースに入学しても学費等納付金は同額です。ただし、フレックスA（夜間主）コースの在籍生を対象に、月～金曜日の5～7時限及び土曜日1～7時限の科目のみで授業を履修し、本学の定める出願資格を満たした学生に、40万円を給付する制度「フレックス特別給付奨学金」を設けています。有資格者は入学後所定の期間に出願手続をしてください。詳細は学生生活課（03-5466-0146）にお問い合わせください。

※この奨学金を希望する場合には、出願時に必ず「フレックスA（夜間主）コース」を選択してください。

【入学手続完了後の辞退について】

入学手続を完了した後にやむを得ない事由により、入学を辞退する場合、平成29年3月31日（金）17時までに所定の申請手続を終えた方には、入学金を除く授業料等納付金を返還いたします。なお、詳細は『入学手続方法』に記載します。

【編入学の方へ…國學院大學教育充実資金（維持費）についてのお願い】

本学教学内容の維持・充実をはかるため、編入学生の保証人（ご父母）各位に國學院大學教育充実資金（1口20万円）のご寄付をお願いしております。入学後の4月にご案内をいたしますので、ぜひ1口以上のご協力をお願い申しあげます。

※本学では入学前（3月まで）の募金活動は行っておりません。

※自筆で記入してください(鉛筆書き不可)。

学士・一般編入学試験 履歴書				入試コード			
志願先	学部		フリガナ				
	学科		氏名				
	専攻コース		西暦	年	月	日生(満)	歳)

※自筆で記入してください(鉛筆書き不可)。

学士・一般編入学試験 面接調書

志願先	学部 コース・専攻 第3学年へ	学科
志願理由 (詳細に)		
将来の目標		
愛読書		
趣味		

キ
リ
ト
リ

(別 紙)

(大学記入欄)

整理番号

平成 年 月 日

國學院大學学長 殿

大規模災害に伴う入学検定料特別措置申請書

平成29年度入学試験の受験に際し、入学検定料特別措置の申請をいたします。

志 願 者	フ リ ガ ナ 氏 名			印
	現 住 所	〒	—	電話

キ
リ
ト
リ

保 護 者(現家計 支持者)	フ リ ガ ナ 氏 名			印
	現 住 所	〒	—	電話

被 災 原 因	※罹災証明書記載の原因を記入してください。		
---------	-----------------------	--	--

■被災状況（以下の項目から該当するものを○で囲んでください。）

- 1 被災当時の家計支持者の死亡
- 2 被災当時の家計支持者が居住する家屋の（ 全壊 ・ 全焼 ・ 流失 ）
- 3 被災当時の家計支持者が居住する家屋の（ 半壊 ・ 半焼 ・ 一部損壊 ）
- 4 その他（ ）

(注)

1. 「罹災証明書」(写し可)と合わせ、出願時に提出してください（出願後の提出不可）。
2. 特別措置申請書は必ず志願者及び保護者捺印のうえ、提出してください（複写は不可）。



KOKUGAKUIN Univ.